

## 7.2.15. 人と自然との触れ合いの活動の場

### 土地又は工作物の存在及び供用

#### 1. 施設の存在等に伴う人と自然との触れ合いの活動の場への影響

##### 1) 調査

##### ① 調査すべき情報

##### ア. 人と自然との触れ合いの活動の場の概況

関係市へのヒアリング及び観光案内図等による情報の収集並びに当該資料の整理及び解析により、主要な人と自然との触れ合いの活動の場を調査した。

##### イ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況

目視観察及び記録によって、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の状況及び利用状況を把握するとともに、近傍の公共駐車場等において、主要な人と自然との触れ合いの活動の場への利用経路の状況を調査した。

##### ② 調査地域

調査地域は、都市計画対象事業実施区域及びその周辺とした（図 7.2.15-1 参照）。

##### ③ 調査地点

調査地点は、調査地域内の人と自然との触れ合いの活動の場である成東・東金食虫植物群落、伊藤左千夫のみち、東金青年の森公園、作田川とした。

調査地点は表 7.2.15-1 に、位置図は図 7.2.15-1 に示すとおりである。

表 7.2.15-1 人と自然との触れ合いの活動の場調査地点

地点	名称	区分	市町
St.1	成東・東金食虫植物群落	公園・緑地	山武市、東金市
St.2	伊藤左千夫のみち	散策	山武市
St.3	東金青年の森公園	運動公園等	東金市
St.4	作田川	釣り場・サイクリング	東金市、山武市

#### ④ 調査手法

文献その他の資料により資料を収集し整理するほか、現地踏査により人と自然との触れ合いの活動の場の利用状況を把握した。また、適宜、写真撮影を行った。

#### ⑤ 調査期間等

調査期間・頻度は、春季、夏季、秋季、冬季の4回とした。

なお、成東・東金食虫植物群落については、施設の閉鎖期間を除く早春季、春季、夏季、秋季の4回とした。

調査実施日は、表 7.2.15-2 に示すとおりである。

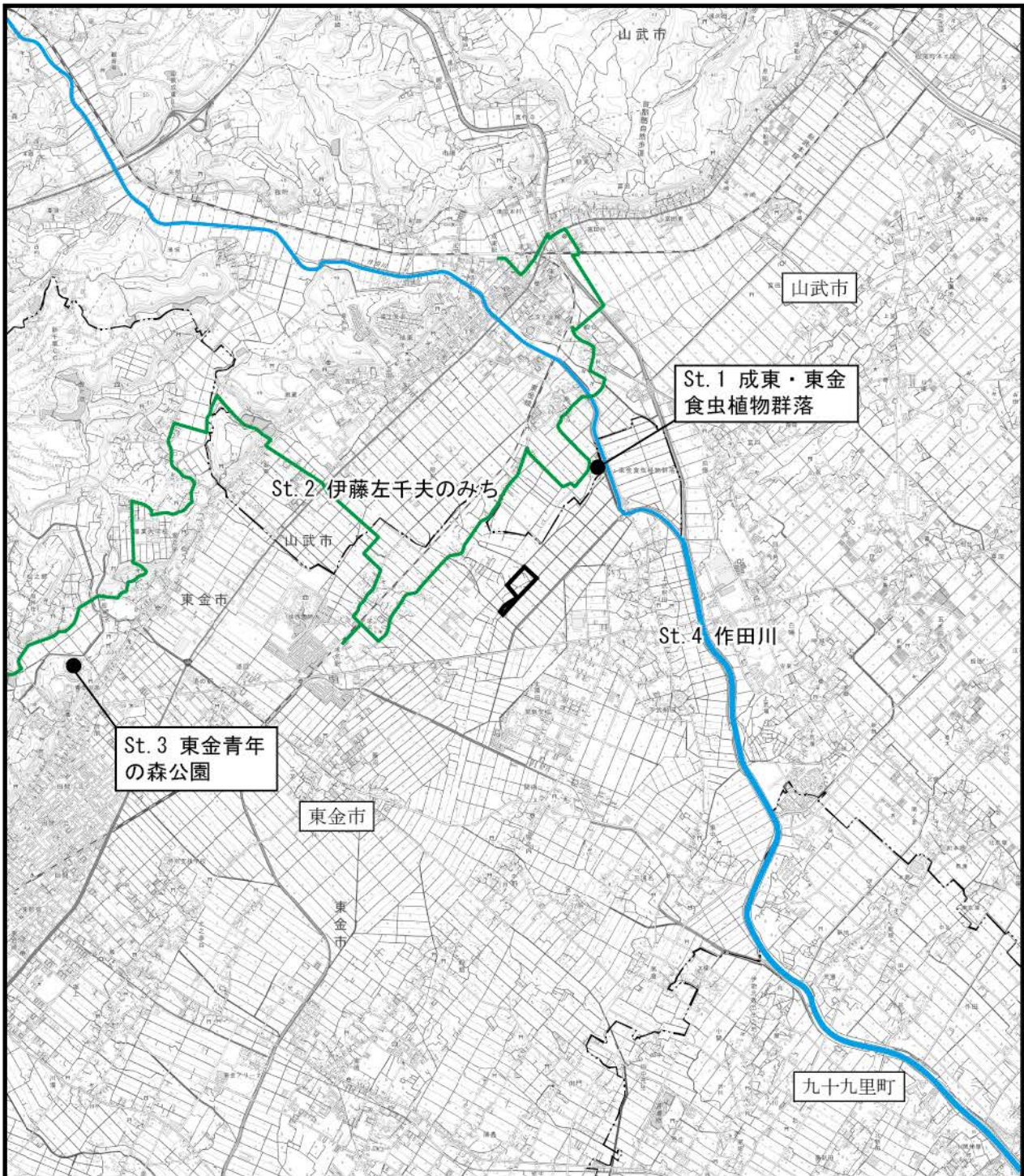
表 7.2.15-2 現地調査実施日

調査事項	調査項目	調査地点	調査期間・頻度等
人と自然との触れ合いの活動の場	人と自然との触れ合いの活動の場の概況、利用状況	St.1 成東・東金食虫植物群落	<b>【1日間×4季】</b> 春季：令和3年5月22日、5月29日 <sup>※1</sup> 夏季：令和3年8月7日 秋季：令和3年10月30日 <sup>※2</sup> 、11月20日 冬季：令和4年1月22日 <sup>※2</sup> 令和4年4月23日 <sup>※2</sup> 調査時間帯：9:00～17:00 <sup>※3</sup>
		St.2 伊藤左千夫のみち	
		St.3 東金青年の森公園	
		St.4 作田川	

※1:St.1 成東・東金食虫植物群落の調査を追加で行った。

※2:St.1 成東・東金食虫植物群落は11月より翌年3月まで閉鎖となるため、この地点のみ秋季は10月中に調査を実施し、冬季調査の代わりに早春季として4月に調査を実施した。

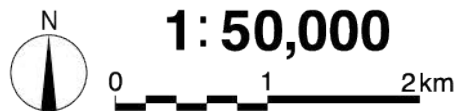
※3:廃棄物運搬車量等の運行時間帯（8：30～17：15）に合わせて設定した。



凡 例

- : 都市計画対象事業実施区域
- · — · : 行政界
- : 人と自然との触れ合いの活動の場調査地点
- : 人と自然との触れ合いの活動の場調査地点
- : 人と自然との触れ合いの活動の場調査地点

図 7.2.15-1 人と自然との触れ合いの活動の場  
調査地域及び調査地点



この地図は、国土地理院発行の電子地形図2万5千分の1を使用したものである。

## ⑥ 調査結果

### ア. 人と自然との触れ合いの活動の場の概況

人と自然との触れ合いの活動の場の概況は表 7.2.15-3 に示すとおりである。

表 7.2.15-3 人と自然との触れ合いの活動の場の概況

地点	名称	区分	市町	概況
St.1	成東・東金食虫植物群落	公園・緑地	山武市 東金市	都市計画対象事業実施区域及びその周辺に位置し、食虫植物群落を見学できる。
St.2	伊藤左千夫のみち	散策	山武市	都市計画対象事業実施区域及びその周辺を通る散策路として利用されている。
St.3	東金青年の森公園	運動公園等	東金市	都市計画対象事業実施区域及びその周辺で運動、レクリエーション等に利用されている。
St.4	作田川	釣り場・サイクリング	東金市 山武市	都市計画対象事業実施区域及びその周辺で釣り・サイクリング等に利用されている。

#### イ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況

全地点における現地調査結果の概要は表 7.2.15-4 及び図 7.2.15-2 に、調査地点別の現地調査結果は表 7.2.15-6～表 7.2.15-9 に示すとおりである。

全地点のうち、年間を通じて利用者数が非常に多かった地点は、「St.3 東金青年の森公園」であった。野球の試合があった春季、夏季は特に利用者数が多かった。また、「St.1 成東・東金食虫植物群落」、「St.2 伊藤左千夫のみち」、「St.4 作田川」における利用者数は少なかった。「St.1 成東・東金食虫植物群落」では、他の時期に比べて秋季に利用者が多かったが、これは調査日が「秋の観察週間」にあたったためである。

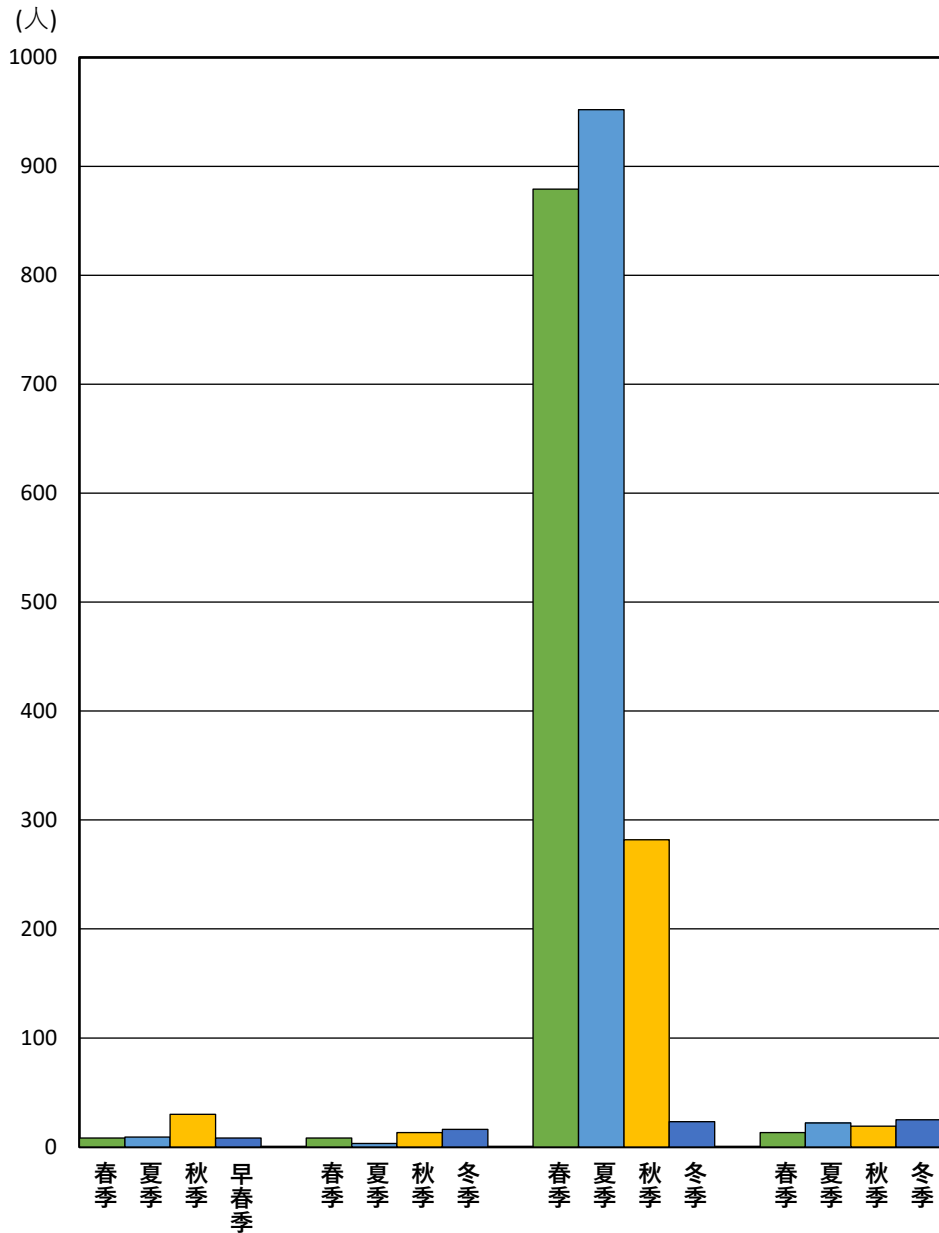
なお、調査結果の詳細は、資料編「10.1. 人と自然との触れ合いの活動の場調査結果」(P.資 10.1-1～10.1-18 参照) に示す。

表 7.2.15-4 現地調査結果の概要

地点	地点名	日利用者数 (人/日) ※1				利用者数の状況
		4季				
		春季	夏季	秋季	冬季	
St.1	成東・東金食虫植物群落	8	9	30	(8)※2	少ない
St.2	伊藤左千夫のみち	8	3	10	15	少ない
St.3	東金青年の森公園	879	952	282	23	非常に多い
St.4	作田川	13	22	19	25	少ない

※1 利用者数は毎正時1回(9時～17時の8時間)10分間の測定を行っており、表は1日における利用者数の合計値を示す。

※2 St.1 成東・東金食虫植物群落は11月より翌年3月まで閉鎖となるため、冬季調査の代わりに早春季として4月に調査を実施した。



St.1: 成東・東金食虫植物群落    St.2: 伊藤左千夫のみち    St.3: 東金青年の森公園    St.4: 作田川

※ St.1 成東・東金食虫植物群落は11月より翌年3月まで閉鎖となるため、冬季調査の代わりに早春季として4月に調査を実施した。

図 7.2.15-2 日利用者数 (全地点)

7) St.1 成東・東金食虫植物群落

成東・東金食虫植物群落は、都市計画対象事業実施区域の北東側に位置する自然観察施設で、作田川に沿う約 17,000 m<sup>2</sup>の低湿地帯にある国指定の天然記念物である。

4 季調査では、毎時 1 回の測定において 8～30 人の利用者が確認され、利用者が少ない地点であったが、自然観察会が実施されていた秋季は利用者が比較的多かった。利用目的は自然観察や写真撮影であった。なお、成東・東金食虫植物群落は 11 月から翌年 3 月まで閉鎖されるため、冬季の利用者はおらず、見学期間再開後に実施した早春季（4 月）では 8 人であった。

なお、山武市で集計している平成 28 年度から令和 2 年度までの 5 年間の年度別、月別の利用者数は表 7.2.15-5 のとおりである。新型コロナ禍の影響により利用者の制限を設けた（人数の多い団体利用者の利用は不可等）令和 2 年度の利用者数は、それまでの約半数程度となっている。また、月別の利用者数は食虫植物またその他植物の開花時期である 5 月～8 月が多くなっている。

なお、ヒアリング結果の詳細は、資料編「10.2. 食虫植物群落ヒアリング結果」（P.資 10.2-1～10.2-6 参照）に示す。

表 7.2.15-5 月別利用者数（平成 28 年度～令和 2 年度）（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度別 累計
平成 28年度	376	748	390	527	318	237	324	155	30	35	35	91	3,266
平成 29年度	262	653	532	423	725	351	242	159	30	40	14	114	3,545
平成 30年度	376	559	345	299	506	272	199	157	18	28	58	57	2,874
令和 元年度	330	883	500	686	396	155	118	94	25	21	26	0	3,234
令和 2年度	0	0	289	406	398	194	180	124	17	1	0	1	1,610
月別 累計	1,344	2,843	2,056	2,341	2,343	1,209	1,063	689	120	125	133	263	14,529

出典：山武市資料

表 7.2.15-6 現地調査結果（成東・東金食虫植物群落）


地点名		St.1 成東・東金食虫植物群落			
		<利用環境>		<分布>	
<p>■概況</p> <p>【位置】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画対象事業実施区域の北東側に位置する。</li> <li>・都市計画対象事業実施区域までの距離は約1.2km。</li> </ul> <p>【特徴等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作田川に沿う約17,000㎡の低湿地帯にある国指定の天然記念物である。</li> <li>・伊藤左千夫のみちに面している。</li> <li>・春季、夏季、秋季には自然観察会を開催している。</li> <li>・ボランティア団体である「成東・東金食虫植物群落を守る会」が管理している。</li> </ul>		<p>調査地点位置</p>  <p>©NTT InfraNet,DigitalGlobe Inc.,a Maxar company.</p>			
<p>■利用性</p> <p>【駐車場の有無】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場があり、6台駐車可能。</li> </ul> <p>【アクセスルート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県道121号成東鳴浜線から市道を通してアクセスする。</li> </ul>					
<p>■快適性</p> <p>【眺望】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣には主に田畑や草原等があり、眺望を遮る高い施設等は存在しない。</li> </ul>					
<利用状況>					
■利用者数					
時刻	利用者数（人）				
	春季 (令和3.5.29)	夏季 (令和3.8.07)	秋季 (令和3.10.30)	早春季 (令和4. 4.23)	
9～10時	0	0	8	0	
10～11時	3	0	11	3	
11～12時	2	0	6	2	
12～13時	0	2	1	3	
13～14時	1	3	1	0	
14～15時	0	1	0	0	
15～16時	2	3	3	0	
16～17時	0	0	0	0	
※冬季は閉鎖（11月～翌年3月）のため、早春季として4月に調査を実施した。					
利用状況写真					
					

### 1) 伊藤左千夫のみち

伊藤左千夫のみちは、都市計画対象事業実施区域の西～北側に位置する関東ふれあいの道の一部で、途中に成東・東金食虫植物群落等がある。

4季調査では、毎時1回の測定において3～15人の利用者が確認され、利用者が少ない地点であった。

表 7.2.15-7 現地調査結果（伊藤左千夫のみち）




地点名		St.2 伊藤左千夫のみち			
		<利用環境>		<分布>	
<b>■概況</b> <b>【位置】</b> ・都市計画対象事業実施区域の西～北側に位置する。 ・都市計画対象事業実施区域までの距離は直近で約0.2km。 <b>【特徴等】</b> ・関東ふれあいの道のコースの1つでJR成東駅、JR東金駅間の15.6km。 ・山武市歴史民俗資料館、伊藤左千夫の生家や成東・東金食虫植物群落が存在する。		調査地点位置 			
<b>■利用性</b> <b>【駐車場の有無】</b> ・途中の山武市歴史民俗資料館、伊藤左千夫の生家や成東・東金食虫植物群落には駐車場が整備されている。 <b>【アクセスルート】</b> ・JR成東駅やJR東金駅等からアクセスできる。					
<b>■快適性</b> <b>【眺望】</b> ・沿道には主に田畑や住居等があり、眺望を遮る高い施設等は存在しない。					
<利用状況>					
<b>■利用者数</b>					
	利用者数（人）				
時刻	春季 (令和3.5.22)	夏季 (令和3.8.07)	秋季 (令和3.11.20)	冬季 (令和4.1.22)	
9～10時	1	0	1	3	
10～11時	2	0	3	1	
11～12時	0	0	0	0	
12～13時	0	0	5	2	
13～14時	0	0	0	1	
14～15時	2	0	0	1	
15～16時	2	1	3	3	
16～17時	1	2	1	4	
<b>■利用状況写真</b>					
					

### ウ) St.3 東金青年の森公園

東金青年の森公園は、都市計画対象事業実施区域の西側に位置する運動公園施設で、野球場やテニスコートがある。

4季調査では、毎時1回の測定において23～952人の利用者が確認され、利用者が非常に多い地点であった。特に野球の試合がある時の利用者が多かった。利用は野球やテニスを目的としていた。

表 7.2.15-8 現地調査結果（東金青年の森公園）


地点名	St.3 東金青年の森公園			
<利用環境>		<分布>		
<b>■概況</b> <b>【位置】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画対象事業実施区域の西側に位置する。</li> <li>都市計画対象事業実施区域までの距離は約3.8km。</li> </ul> <b>【特徴等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>緑豊かな自然環境に恵まれた運動施設である。</li> <li>野球場とテニスコートがあり、緑に囲まれた休息スペースもある。</li> </ul>		調査地点位置 		
<b>■利用性</b> <b>【駐車場の有無】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>駐車場があり、68台駐車可能。</li> </ul> <b>【アクセスルート】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>県道119号から市道を通ってアクセスする。</li> </ul>				
<b>■快適性</b> <b>【眺望】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>高台に位置し近隣には主に住宅等があり、眺望を遮る高い施設等は存在しないが、高木によりグラウンド等からの眺望は妨げられる。</li> </ul>				
<利用状況>				
<b>■利用者数</b>				
	利用者数（人）			
時刻	春季 (令和3.5.22)	夏季 (令和3.8.07)	秋季 (令和3.11.20)	冬季 (令和4.1.22)
9～10時	137	111	14	0
10～11時	110	127	16	0
11～12時	100	94	15	0
12～13時	168	129	15	0
13～14時	64	129	56	4
14～15時	57	109	54	5
15～16時	113	125	56	10
16～17時	130	128	56	4
<b>■利用状況写真</b>				
				

### I) St.4 作田川

作田川は、都市計画対象事業実施区域の北西～南東側に位置する河川で、千葉県九十九里平野のほぼ中央部を流れる二級河川である。

4 季調査では、毎時 1 回の測定において 13～25 人の利用者が確認され、利用者が少ない地点であった。利用目的は釣りや散歩であった。

表 7.2.15-9 現地調査結果（作田川）

地点名		St.4 作田川			
		<利用環境>		<分布>	
<p>■概況</p> <p>【位置】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画対象事業実施区域の北西～南東側に位置する。</li> <li>・都市計画対象事業実施区域までの距離は直近で約0.8km。</li> </ul> <p>【特徴等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉県管理の二級河川である。</li> <li>・成東・東金食虫植物群落がある低湿地帯に水を供給している。</li> </ul>				<p>調査地点位置</p>  <p>©NTT InfraNet, DigitalGlobe Inc., a Maxar company.</p>	
<p>■利用性</p> <p>【駐車場の有無】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・武射田排水機場近くに駐車スペースがある。</li> </ul> <p>【アクセスルート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県道121号成東鳴浜線や県道124号緑海東金線から市道を通してアクセスする。</li> </ul>					
<p>■快適性</p> <p>【眺望】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣には主に田畑や草原等があり、眺望を遮る高い施設等は存在しない。</li> </ul>					
<利用状況>					
■利用者数					
時刻	利用者数（人）				
	春季 (令和3.5.22)	夏季 (令和3.8.07)	秋季 (令和3.11.20)	冬季 (令和4.1.22)	
9～10時	1	4	1	0	
10～11時	4	4	2	4	
11～12時	1	6	4	4	
12～13時	1	1	2	5	
13～14時	2	2	0	3	
14～15時	1	2	3	3	
15～16時	2	1	2	2	
16～17時	1	2	5	4	
■利用状況写真					
					

## 2) 予測

### ① 予測地域

予測地域は、調査地域と同様とした。

### ② 予測地点

予測地点は、調査地点と同様とした。

### ③ 予測時期

予測対象時期は、本施設の稼働が定常状態となる時期とした。

### ④ 予測の基本的な手法

#### ア. 予測項目

予測項目は、本施設の存在及び稼働による主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用の利便性、快適性等の利用環境に与える変化の程度とした。

#### イ. 予測方法

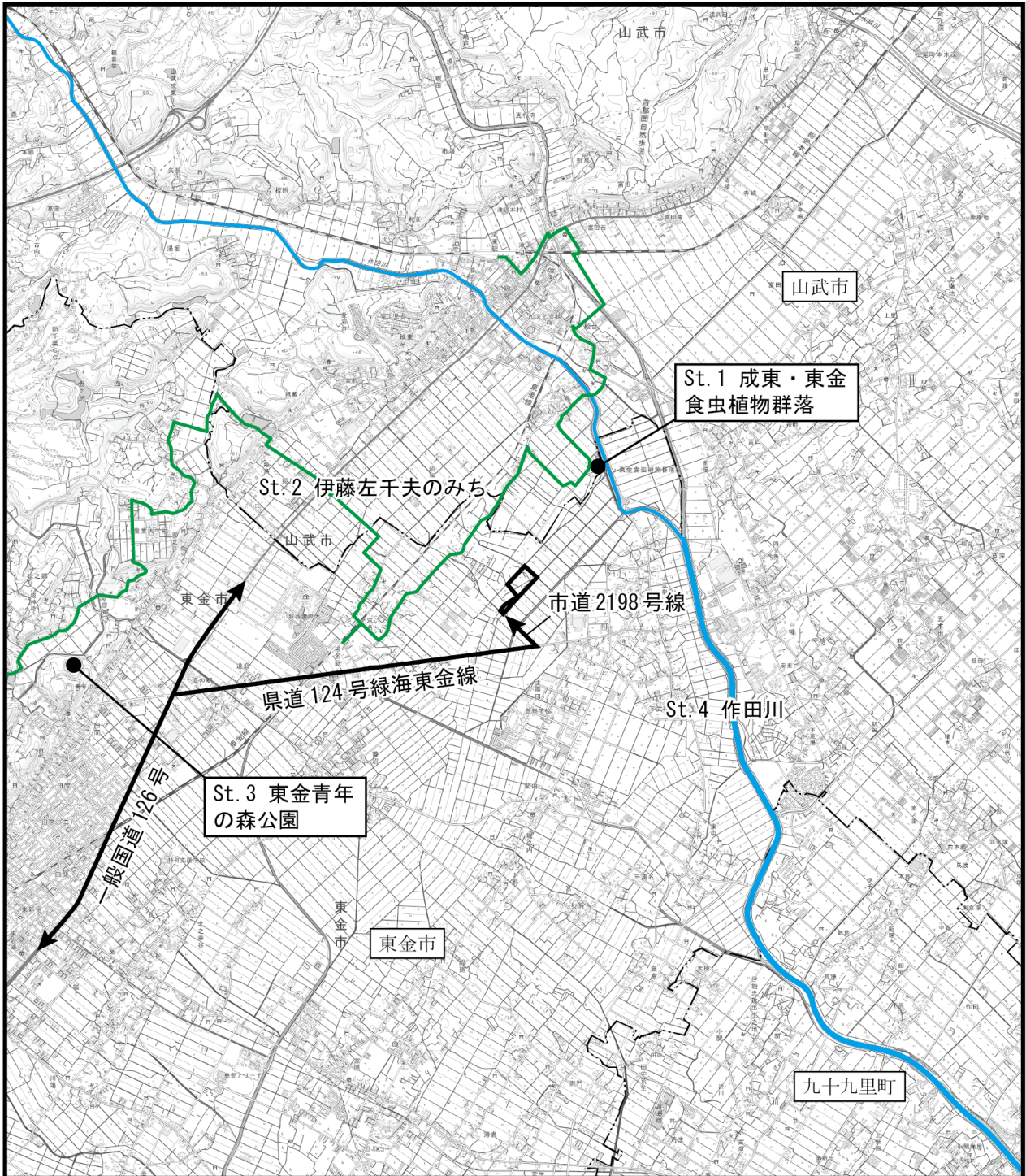
本施設の設置及び廃棄物運搬車両等の走行による利用環境（利用者数、利用形態等）の変化に伴う影響を、類似事例の引用・解析等により、定性的に予測した。

#### ウ. 予測条件

##### ア) 廃棄物運搬車両等の走行ルート

廃棄物運搬車両等の走行ルートは、図 7.2.15-3 に示すとおりである。

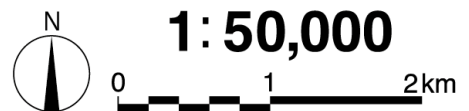
廃棄物運搬車両等は、国道 126 号線から、県道 124 号緑海東金線及び市道 2198 号線を利用する。



凡 例

- : 都市計画対象事業実施区域
- — — : 行政界
- : 人と自然との触れ合いの活動の場調査地点
- : 人と自然との触れ合いの活動の場調査地点
- ↔ : 廃棄物運搬車両等の主要な走行ルート

図 7.2.15-3 廃棄物運搬車両等の主要な走行ルート



この地図は、国土院発行の電子地形図2万5千分の1を使用したものである。

### ⑤ 予測結果の整理

予測結果は、予測地点ごとに影響の概要を整理した。

### ⑥ 予測結果

予測結果は、表 7.2.15-10 に示すとおりである。

本施設の供用に伴い、廃棄物運搬車両等の走行ルートが各地点へのアクセスルートと直接重複することはない。また、各地点とも本施設及び廃棄物運搬車両等の走行ルートに近接することはないことから、本施設の存在及び稼働による主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利便性、快適性に対する影響はほとんどないと予測する。

表 7.2.15-10 人と自然との触れ合いの活動の場の予測結果

番号	地点名	人と自然との触れ合いの活動の場の利便性、快適性
St.1	成東・東金食虫植物群落	アクセスルートとなる県道 121 号成東鳴浜線は廃棄物運搬車両等のルートから外れている。また、廃棄物運搬車両等のルート及び本施設に近接していないことから利便性、快適性に対する影響はほとんどない。
St.2	伊藤左千夫のみち	廃棄物運搬車両等の走行ルートである国道 126 号を山武市内で横断するが、山武市内は廃棄物運搬車両等が走行しない。また、廃棄物運搬車両等のルート及び本施設に近接していないことから利便性、快適性に対する影響はほとんどない。
St.3	東金青年の森公園	アクセスルートとなる県道 119 号東金源線は廃棄物運搬車両等の走行ルートから外れている。また、廃棄物運搬車両等のルート及び本施設に近接していないことから利便性、快適性に対する影響はない。
St.4	作田川	アクセスルートとなる県道 121 号成東鳴浜線は廃棄物運搬車両等のルートから外れている。また、廃棄物運搬車両等のルート及び本施設に近接していないことから利便性、快適性に対する影響はほとんどない。

### 3) 環境保全措置

本事業では本施設の存在及び稼働による主要な人と自然との触れ合いの活動の場への影響を低減するため、以下に示す環境保全措置を講じる計画である。

#### 【計画段階で配慮し、予測に反映されている環境保全措置】

- ・ 廃棄物運搬車両等の関係車両の運転手に対しては、交通マナー及び安全確保のルールの遵守、周辺道路及び通学時間帯などの講習・指導を実施する。
- ・ 廃棄物運搬車両等の関係車両の整備を徹底することにより、故障や不具合による事故発生の未然防止に努める。

### 4) 評価

#### ① 評価の手法

主要な人と自然との触れ合いの活動の場の保全が適切に図られているかに関し、環境保全措置についての複数の案の比較検討、実行可能なより良い技術が取り入れられているかどうかの検討その他の適切な検討を通じて、事業者により実行可能な範囲内で対象事業に係る環境影響ができる限り回避され、又は低減されているかどうかを検証することにより評価する。

#### ② 評価の結果

##### ア. 環境の保全が適切に図られているかどうかの評価

本施設の供用に伴い、廃棄物運搬車両等の走行ルートが各地点へのアクセスルートと直接重複することはない。また、各地点とも本施設及び廃棄物運搬車両等の走行ルートに近接することはないことから、本施設の存在及び稼働による主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利便性、快適性に対する影響はほとんどないと予測する。

以上のことから、事業者により実行可能な範囲内で対象事業に係る環境影響ができる限り回避又は低減されているものと評価する。